

2013 年度サラウンドの日体感視聴会報告

DHT サラウンドサウンド部会主査 / パイオニア (株)

小谷野 進司

昨年から続く国内家電メーカーの不振はなかなか改善の兆しが見えない状況にありますが、より高精細な 4K TV の発売や、ネットワーク、PC オーディオの普及とオーディオビジュアルの世界では、新たな動きが生まれつつあります。このような変化の中で迎えた今年の「サラウンドの日」ですが、従来の各社のイベントを協会がフォローしていくスタイルから、協会主催のイベントを中心に運営していくことを試みました。ユーザーの反応を直接感じることで今後の普及活動に生かせることを意図しましたので、今回は協会イベントを中心に報告致します。

1. 「サラウンドの日」について

JEITA と日本オーディオ協会は、サラウンドサウンドやホームシアターの普及、啓発に向けて活動を行ってまいりましたが、一般の方々に対しての認知を高めるために、2008 年に 5.1ch に因んで 5 月 1 日を「サラウンドの日」として制定しました。以来、4 月、5 月を中心に「サラウンドの日体感視聴会」イベントとして、会員企業やサラウンド関連団体、放送事業者等により全国で様々な体験会を開催しています。



サラウンドの日シンボルマーク

2. 実施概要

例年会員各社に声掛けし期間中のイベントを協会ホームページで案内する形を取っておりましたが、各社の自主的な実施状況を鑑み、今年度は、一斉の広報は行わないことで実施しました。昨年度はじめて開催した協会主催のセミナーが好評だったことや、その後のオーディオ&ホームシアター展におけるホームシアターセミナー、協会会議室を使ったミニセミナーを開催し、多くの方々に関心を持って頂けたことから、今年度も協会主催のセミナーを実施致しました。DEGJ を通じてのコンテンツ提供についてはジェネオンユニバーサルより、DEGJ アワードベスト高音質賞を受賞した「オペラ座の怪人 25 周年記念講演 in ロンドン」および、発売前の「レ・ミゼラブル」を提供頂きセミナーでのデモ上映を行いました。

協会主催のセミナーは、デジタルホームシアター (DHT) 委員会を中心となり、「サラウンドの日 ホームシアタースペシャルセミナー」として以下の内容で行いました。

- 開催日時 5 月 1 日から 3 日まで
- 開催場所 日本オーディオ協会 7F 会議室
- プログラム

開催日	タイトル／内容	講師	時間
5月1日(水)	ビギナー講座【バータイプで楽しむホームシアター】 ・話題のバータイプスピーカーでホームシアターを体験。合わせて、ホームシアターを引き立てる、効果的な照明テクニックを紹介	田中 祥司 白岩 紀人	13:30 - 15:00 16:00 - 17:30
5月2日(木)	映像講座【こうすれば良くなる TV の映像調整】 ・テレビの設置方法から、易しい調整テクニックを紹介	市川 俊一 白岩 紀人	13:30 - 15:00
5月3日(金)	音をよくする部屋作り講座【リビングで良い音を】 ・簡単にできる音のコントロールテクニックを、理論と実験を交え紹介	小谷野 進司 武田 雅美	13:30 - 15:00 16:00 - 17:30

昨年は協会イベントとしては初めての開催ということもあり、1日4時間のプログラムで行いましたが、今年度はテーマ別に3日間に分けての開催としました。

1日目は、手軽なホームシアターシステムとして普及している「バータイプ」スピーカーを使ったシアターシステムについてパナソニック（株）の田中氏に講演いただきました。再生方式についての解説に始まり、設置方法、様々なバータイプシステムの紹介などを実際の再生を交えて語っていただきました。同じく白岩氏からは、ホームシアターにおける照明の効果や重要性について解説頂くとともに照明器具の設置によって画の見え方が大きく変化することをデモして頂きました。



ビギナー講座



照明の使い方

2日目は、ディスプレイの画質調整法について、市川氏より講演頂きました。通常見ている液晶ディスプレイなどについてより良い画質にするための調整法について、テストディスクや手作りのフィルターを使いながらどのような状態に見えれば最適かを体験し、基本的な調整機能だけでもここまでできること実際に確認していただきました。

3日目は、ルームチューンの基礎について、筆者と JVC ケンウッドの武田氏により講演致しました。遮音や吸音の基本から、実際の部屋でのスピーカー特性の変化を実測しながら解説しました。

定在波については、参加者に実際に体験することで、場所による変化を感じ、現象の理解を深めていただきました。さらに、DHT 講座で配布している測定ツール「ZANKYO」のデモを行い、残響時間による音の聞こえ方の変化を体験いただきました。



映像講座



音を良くする部屋作り講座



ホームシアター相談コーナー

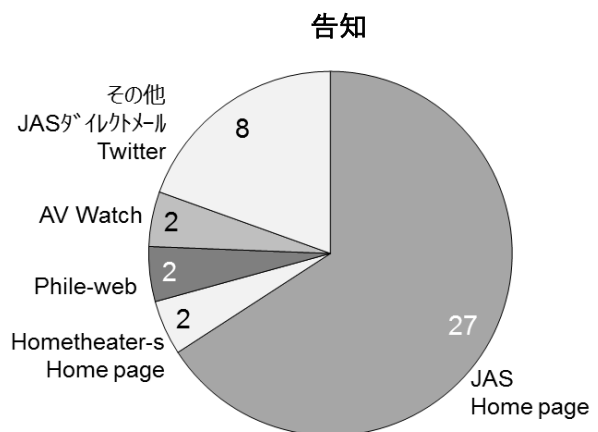
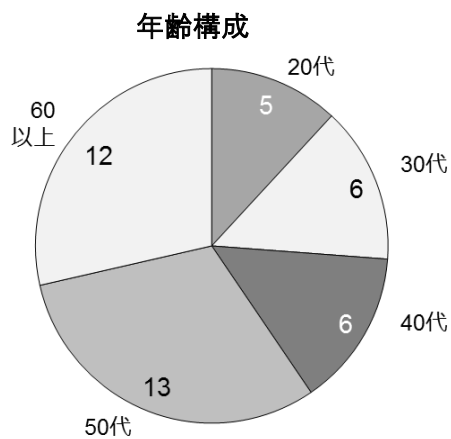
また、今回は開催期間中にホームシアター相談コーナーを設け、様々な相談に対して対応を行いました。

3. 実施結果

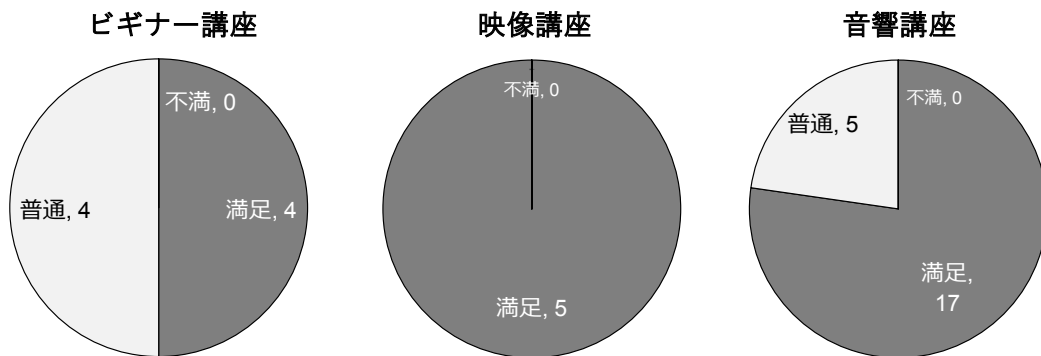
参加者は、1日目 10名、2日目 5名、3日目 27名の延べ42名でした。

アンケートの結果を以下に示します。

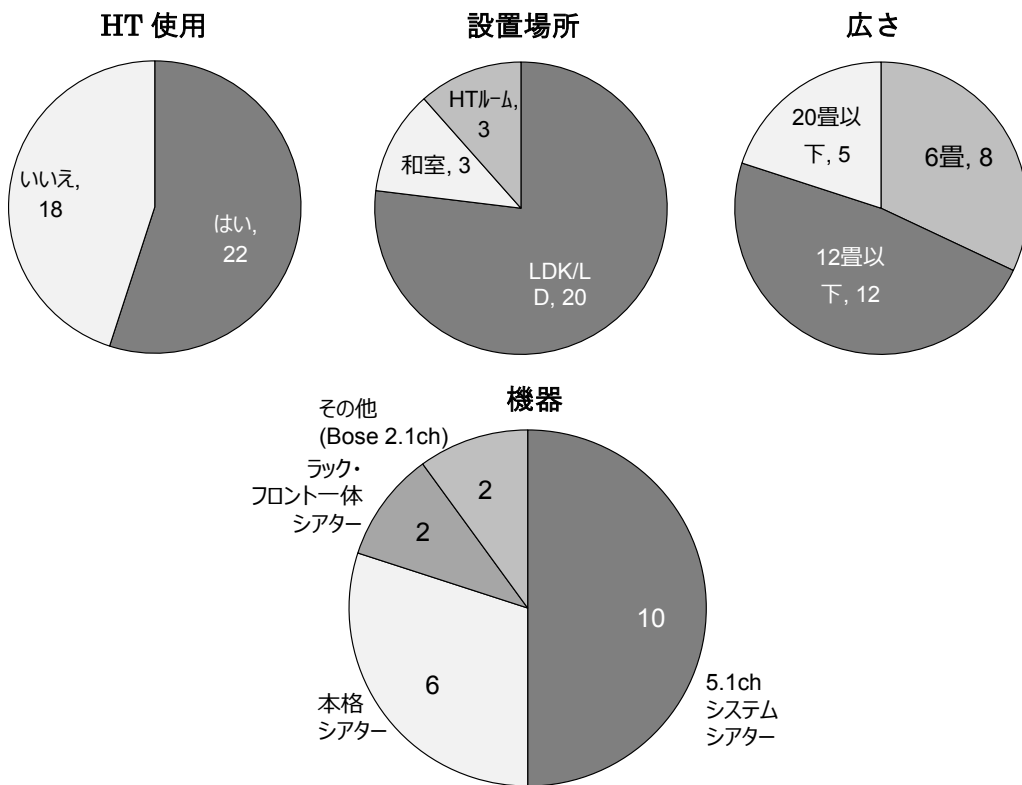
1) 年齢および情報入手先



2) 満足度



3) ホームシアター設置状況



4) 主な感想

参加者からの主な感想を以下に記します。

【ビギナー講座】

- ・バー式スピーカーはこんな迫力があるとは思わなかった。売れると思う。
- ・バースピーカーについてあらためて知れてよかった。
- ・シアターバー製品は手軽に楽しめるし、購入や設置も楽だが、サラウンド感（後ろからの音のイメージ）は物足りないかもしれない。思ったより低音や迫力が出るので前からの音としてはよい。

- ・照明については知識が無かったので勉強になった。特に TV 背面の明かりは必要と思った

【映像講座】

- ・カラーバー調整の実演、小フィルターサンプルは役立つと思った。良いと思います。参考になりました。
- ・ブルーフィルターを使った調整方法はよい参考になりました。
- ・映像の具体的な調整など普段ではできないことを見られたのは有益でした。

【音を良くする部屋作り講座】

- ・このようなセミナーは初めての参加でしたので勉強になりました。お話にもありましたが、環境によりチューニングも異なるので難しい部分でもあり、楽しさも感じました。
- ・定在波の実演は見事でした。理屈だけだとなかなかイメージできないので、、、。Audio I/Fがあるのでフリーソフトを探してノイズを出してチェックしてみたいです。
- ・具体的でわかりやすい話でした。カーテン（種類による）の効果の大きさは意外でした。ただの座学とは違い、体験学習はとても良かった。

4. おわりに

今年度のイベントは、本イベント以外に各社ショールーム等での試聴会の開催やサラウンド寺子屋主催によるサラウンド作品試聴会など各地で開催されました。このような活動に伴い、ホームシアターの認知は広まっているものの実際に家庭で構築するところまでは十分に進んでいないのが実情です。大画面 TV が普及し、さらに 4K、8K といった高精細 TV が製品化される流れの中で、音響システムについては、ハイビット、ハイサンプリングに加えて、サラウンドサウンドによる再生のすばらしさをさらに伝えていく必要があると感じています。協会としても DHT 委員会を中心にさらなる普及啓発活動を継続していきますのでご協力をよろしくお願い致します。

筆者プロフィール

小谷野 進司（こやの しんじ）



1952 年生まれ。1975 年東京電機大学電子工学科卒。
同年パイオニア（株）入社。
スピーカの設計、開発を経て、同社総合研究所にて
オーディオ関連研究に従事。
2005 年よりオーディオの普及と教育活動を開始。
現在同社サウンドアドバイザー。